

スマホ・テレビ連動の
新世代クラウドゲーム

ZOIDS
Material Hunters
マテリアルハンター



『ZOIDS Material Hunters』提供開始!!



ZOIDS Material Hunters
ジャンル アクションゲーム
価格 無料(アイテム課金あり)
配信先 Google play(Android版)
App Store(iOS版)



『ZOIDS Material Hunters』の遊び方

『攻撃』～戦って!～

ミッションをこなして、
ZOIDSをレベルアップしよう!
ZOIDSの機体レベルを上げると上
陸できる島が増え、出撃できるミッ
ションが増えていきます。



『収集』～集めて!～

敵を倒して武装強化に必要な
マテリアルを入手しよう!
ミッションで入手できるマテリアル
の種類やレベルはいろいろ。強化
に必要なマテリアルを集めていき
ます。



『武装強化』～強くなれ!～

集めたマテリアルを使って、
最強のZOIDSに育てよう!
マテリアルの組み合わせによっ
て、ゾイドの強化系統が変わりま
す。自分好みのZOIDSに育てる
ことができます。



『ZOIDS Material Hunters』公式サイト ▶ <http://gcluster.jp/games/zoids/>

©TOMY ZOIDS is a trademark of TOMY Company,Ltd. and used under license.
©Broadmedia Corporation. All Rights Reserved.



コーポレートサイトのご案内

最新ニュースはもちろん、プレスリリース、投資家情報などを随時更新しています。
また、個人・法人向けサービスやグループ会社サイトとリンクしていますので、
必要な情報を素早く閲覧することができます。ぜひご利用ください。

<http://www.broadmedia.co.jp/>

ブロードメディア

検索



ブロードメディア株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂8-4-14 青山タワープレイス6F

2015

business report

株主通信
第19期 決算のご報告
2014.4.1 ● 2015.3.31



Broadmedia

CONTENTS

- 01 トップインタビュー
- 06 新世代クラウドゲーム「Gクラスタ」の世界!
- 07 トピックス
- 08 ブロードメディアグループの強み
- 09 セグメント別の業績
- 11 連結財務諸表(要約)
- 13 会社データ
- 14 株式データ

ブロードメディア株式会社

証券コード:4347

黒字化実現のため クラウドゲーム事業の成功と 企業体質の改善に取り組みます。



代表取締役社長 **橋本 太郎**

Q 今期の業績とそれを受けての経営課題についてお聞かせください。

2015年3月期に関しては、何よりもクラウドゲーム事業の立ち上げの遅れに起因する減損によって、グループ全体の収益を大きく圧迫し、大きな損失を計上いたしました。

放送は業績を伸ばしましたが、減損の要因と

なったクラウドゲーム事業で、第3四半期にゲーム機等の端末在庫や番組勘定の評価減を行ったことに加え、教育サービスにおいて、新設した大阪校の入学人数が想定を下回りました。また、スタジオで番組販売事業や制作事業の受注が減少したことも影響しました。

このような今期の業績を受け、コスト構造の見直しを重要な経営課題として捉え、全社的な

コスト削減や事業統合を含む業務効率の改善など、黒字化実現に向けた企業体質の改善を進めています。一方で、将来の当社を支える事業とすべく注力しているクラウドゲーム事業には、引き続き経営資源を集中し、成長基盤の早期確立を目指してまいります。また、クラウドゲーム事業の成長には、中期にわたる継続的な投資が必要なため、その事業戦略を支える財務基盤の安定化を図ってまいります。

Q 今後のクラウド事業の展開についてお聞かせください。

当社の「クラウド事業」は、クラウドゲーム事業と映像サービス事業に大きく分けられます。特に、クラウドゲーム事業に関しては、多くの方に注目をいただいておりますが、2013年6月のサービス開始以来、想定以上にその立ち上げに時間がかかっているという現状です。

テレビ（家庭用ゲーム市場）向けに
クラウドゲームサービスを開始



成長市場である
スマホ・タブレット向けの展開へシフト



当初テレビ(家庭用ゲーム市場)からクラウドを普及させていくというシナリオを思い描いており、クラウドゲーム機「G-cluster」の販売や「Gクラスタ機能」を搭載したテレビの普及促進に力を入れてまいりました。しかし、想定通り普及が進まないという現状を受け、急速に拡大が進む成長市場であるスマホ・タブレット(ソーシャルゲーム市場)からクラウドゲームにユーザーを誘導するという戦略に転換いたしました。

そうした新たな事業戦略の中で、2014年12月からスクウェア・エニックスさんが運営するストーリーミングサービス「DIVE IN」に対する「Gクラスタ技術」の提供や、当社が提供するスマホ・タブレット向けゲームアプリ「FINAL FANTASY® XIII」の配信を開始いたしました。

また、2015年5月には、当社のオリジナルゲーム『ZOIDS Material Hunters』の提供を開始しました。このゲームはスマホアプリ単独でもプレイすることができますが、「Gクラスタ」を連携させることによってテレビの大画面で迫力あるZOIDSの世界を楽しむことが可能になり、スマホアプリでは味わえないクラウド

限定ミッションに挑戦することもできます。開始直後から多くの皆様にプレイしていただいておりますが、同時に多くの改善点の指摘もいただいております。そうした声にもしっかりと対応し、ゲームを進化させてまいります。

今後も引き続きスマホおよびタブレット端末等に向けたオリジナルゲームの開発や、人気ゲームタイトルのクラウド化を進めて、クラウドゲームサービスの普及を進めてまいります。

「クラウド事業」のもう一端を担う映像サービス事業については、今後2つの取り組みを通して、スマホ・タブレットを意識したマルチデバイス化を行ってまいります。1つ目はグループ内の映像サービスの統合で、PC・スマホ向けに海外ドラマを配信している「ドラMAXアリーナ」と、テレビ向けに最新の洋画や邦画を配信している「T's TVレンタルビデオ」を2015年夏に統合し、サービスをリニューアルする予定です。また、2つ目の取り組みとして、新たな映像サービスの立ち上げについて東北新社さんと協議しており、両社グループの持つ放送コンテンツのデジタル配信サービ

スを提供する予定です。詳細については、別途お知らせさせていただきますが、お互いの強みを活かしたパートナーシップにより、これまでにない映像サービスを提供できるように取り組んでまいります。

Q

新しい経営体制について教えてください。

ここ数年、当社グループを取り巻く市場環境は急速に変化いたしました。これまで当社の成長を牽引する役目を果たしていた創業事業のCS放送会員サービスが2014年5月に終了

2016年3月期 セグメント別連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	上期 (4月~9月)	下期 (10月~3月)	通期	上期 (4月~9月)	下期 (10月~3月)	通期
コンテンツ	1,100	1,700	2,800	△ 345	40	△ 305
放送	2,430	2,470	4,900	175	145	320
スタジオ	1,250	1,350	2,600	10	75	85
技術	700	800	1,500	10	65	75
ネットワーク営業	600	700	1,300	△ 75	△ 50	△ 125
合計	6,080	7,020	13,100	△ 225	275	50

し、名実ともに新しい段階へと移行しております。また、これまで成長分野として先行投資を行う状況にあった、放送事業と教育事業が大きく成長し、当社グループの中での重要性が高まってきております。こうした状況の中、機能的で、かつグループ経営の実態に即した経営体制へ移行することが、当社グループの発展に寄与するものと考え、放送と教育それぞれの事業責任者にグループの経営に直接参画してもらうことにしました。

現在当社は、グループにとって大規模な新規事業であるクラウドゲーム事業の育成に注力しております。クラウドゲーム事業の成長には、やはり一定の時間が必要になるため、その間は既存事業で業績を支えていく必要があります。特に、放送事業と教育事業には、これまでCS放送会員サービスが担ってきたグループの牽引役を果たしてもらいたいと思っております。

また、グループ経営において、ステークホルダーの皆様に対して、可能な限り明瞭な経営体制でありたいと考えております。主要な事業責任者の顔が見える経営体制とすることで、

これまで以上に各グループ会社との関係を強化し、グループ経営戦略を共有しながら、1つの大きな企業体として事業活動を行う体制を構築してまいります。

**Q 株主の皆様へのメッセージを
お願いいたします。**

先にお話した通り、今期は大変厳しい決算となりました。早急に前述の経営課題へ対応し、来期は何としても黒字化を実現できるよう、全社一丸となって取り組んでまいります。配当につきましては、大変遺憾ではございますが、今期は無配とさせていただくことになりました。

こうした難しい局面にあるにも関わらず、多くの方に当社株式を保有していただき、株主数は約14,000名となりました。株主の皆様のご期待に応えるためにも、クラウドゲーム事業を成功させるとともに、これまで以上に適時開示や事業の進捗報告の実施を心掛けてまいりたいと思っております。株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

「スマホ・タブレット」×「クラウドゲーム」

クラウドゲーム事業を成長市場であるスマホ・タブレット向けにシフトし、更なる顧客獲得へ

POINT 1

「ゲーム会社、ケーブルテレビへの
プラットフォーム提供」

スクウェア・エニックス社のストリーミングサービス、『DIVE IN (ダイブイン)』に対して、2014年12月より、Gクラスタ技術の提供開始。また、ケーブルテレビ国内最大手のJ:COMへクラウドゲームプラットフォームの提供を予定しています。

POINT 2

「魅力あるコンテンツを提供」

スマホ・タブレット向けクラウドゲーム『ファイナルファンタジー『XIII』が登場。2015年4月よりApp StoreおよびGoogle Playにて提供開始。

POINT 3

「スマホ・タブレット向けゲームアプリ
『ZOIDS Material Hunters』
(ゾイド マテリアルハンター)」

2015年5月より提供を開始。Gクラスタと連動することでより奥が深いZOIDSの世界を楽しめます。



スマホ・タブレットユーザーをクラウドゲームの世界へ誘導

クラウドゲームのしくみ プログラムはすべてクラウドで実行。ユーザーは手元のコントローラーやスマホでクラウドにあるゲームを操作。映像と音声はブロードバンド回線を通じて「Gクラスタ」のテレビ画面やスマホ端末にストリーミング配信されます。



コンテンツ

「T's TV レンタルビデオ」が「クランクイン!ビデオ」としてリニューアル!

当社が運営する動画配信サービス「T's TV レンタルビデオ」がグループ会社のハリウッドチャンネル(株)に運営を移し、「クランクイン!ビデオ」としてサービスをリニューアルすることになりました。

クランクイン!ビデオ



HD画質の作品が充実!

HD画質の映像をお客様にお届けします。

マルチデバイスに対応

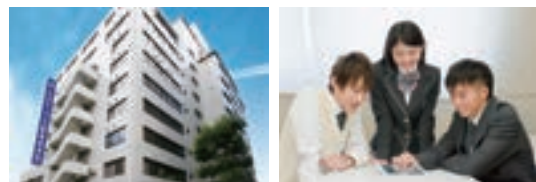
テレビ、パソコン、スマートフォン、タブレットでお楽しみいただけます。

お得な月額プラン「プレミアムプラン」

月額900円(税別)で2,000円分のポイントがもらえるお得な料金プランをご利用いただけます。

全校で通学コースを設置
ルネサンス高等学校グループ

ルネサンス・アカデミー(株)が運営する広域通信制の普通科高等学校「ルネサンス高等学校」は昨年11月に「新宿代々木キャンパス」をオープン。「豊田高等学校」の「豊田駅前キャンパス」および「ルネサンス大阪高等学校」を含めたルネサンス高等学校グループ全校で「通学コース」が設置されました。



放送

人気番組を高画質で提供!
釣りビジョン「釣りビジョン」がますますパワーアップ!

日本で唯一の釣り専門チャンネル「釣りビジョン」「BS釣りビジョン」の視聴可能世帯数が全国485万世帯*、視聴可能なケーブルテレビは298局*となりました。他にも様々なデバイスで視聴可能となり、ますます見やすくなります。

※2015年4月末時点



(左) Channel 4Kで放送中の「Fishing Café」



釣り初心者のための新番組「釣りはじめます!」(右)

CHECK 1

いち早く4Kの制作体制を構築
高画質化を推進しています

(一社)次世代放送推進フォーラム(NexTV-F)のChannel 4Kに、「ニッポン釣り四景(4K)」と「Fishing Café」を番組提供しています。また、J:COMとひかりTVに対して、4Kコンテンツを供給しています。

CHECK 2

釣り初心者のための新番組
「釣りはじめます!」の放送を開始

「釣りを始めてみたいけど、どうしたら良いかわからない。」そんな人たちが、自力で釣りにたどり着くまでの過程に密着したドキュメンタリー番組「釣りはじめます!」の放送を開始。また、番組の放送に合わせて、釣り場情報の検索が可能なナビゲーションサイトも開設しました。

釣り専門チャンネル「釣りビジョン」お問い合わせ先: 0120-260-251(10:00~20:00 土日祝も受付)

「コンテンツの調達力」

「コンテンツを安定的かつ
高品質で配信する技術」

コンテンツの調達と配信技術の2つを併せ持つ独自性が強み

下記の5つの事業分野が緊密に連携を取り、相互に協力しあうことで、「創造力が生み出す優れた作品やサービスを広く社会に普及させ、より豊かなコミュニティの形成・発展に貢献する」という企業理念を推進

5つの事業分野



個人向けサービス・法人向けサービス

さまざまなコンテンツを、
独自性のある技術との組み合わせで、
世の中のさまざまな端末に配信



携帯電話



スマートフォン



タブレット



パソコン



テレビ

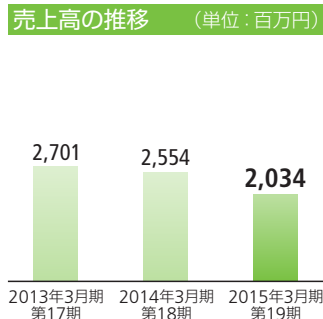


映画館

コンテンツ

売上高
2,034百万円
(前期比20.4%減)

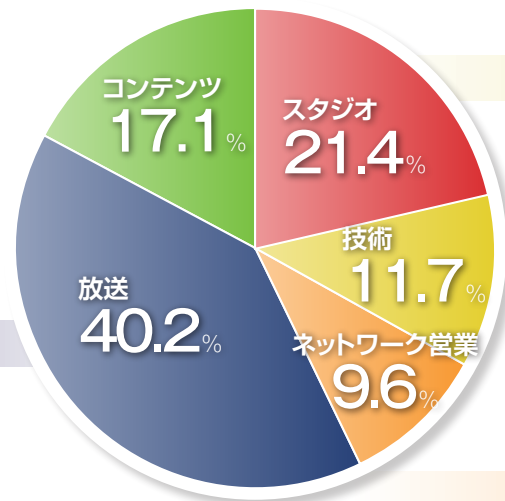
営業利益
△1,072百万円
(前期は△435百万円)



事業・サービス内容
ホームエンタテインメント/映像サービス
CS放送会員サービス/モバイルサービス
教育サービス/その他

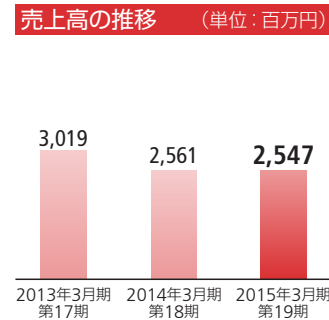
クラウドゲーム事業では、新たにスマホ・タブレット向けのサービスを始めました。売上は増加しておりますが、ゲーム機等のたな卸資産の評価減を行ったこと等により、損失は拡大しました。また、教育サービスでは、2014年4月に3校目となる「ルネサンス大阪高等学校」が開校し、新たに通学コースを開始しました。

売上高合計
11,918百万円



売上高
2,547百万円
(前期比0.6%減)

営業利益
△253百万円
(前期は△177百万円)



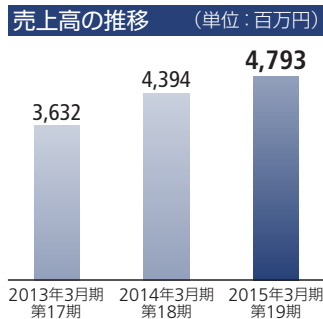
事業・サービス内容
制作事業/番組販売事業/映画配給事業

ビデオ販売が増加したこと等により映画配給事業は増収となりましたが、番組販売事業や制作事業においては受注が減少しました。また、制作事業における原価率の上昇が影響し、損失が拡大しました。

放送

売上高
4,793百万円
(前期比9.1%増)

営業利益
330百万円
(前期は164百万円)



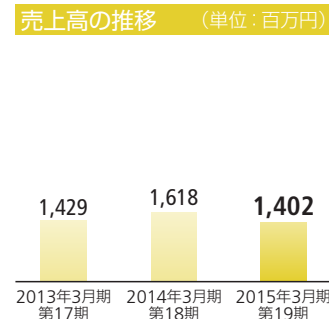
事業・サービス内容
釣り専門チャンネル「釣りビジョン」

制作売上が好調だったことに加え、視聴料収入が堅調に推移しました。また、「スカパー!」の標準画質放送の終了にとともに、昨年度発生していた加入者の移行に関わる販促費用が減少しました。

技術

売上高
1,402百万円
(前期比13.3%減)

営業利益
45百万円
(前期は75百万円)



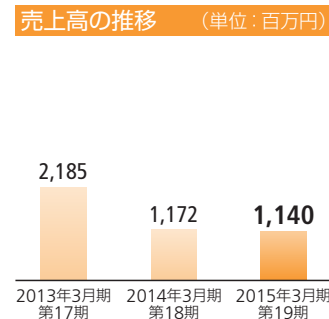
事業・サービス内容
CDNサービス/デジタルシネマサービス

デジタルシネマサービスにおいて機材販売が減少したことや、CDN事業の一部を営業譲渡したことにより、売上高は減少しました。また、ホテルの客室や会議室へインターネットサービスを提供する事業を新たに開始しました。

ネットワーク営業

売上高
1,140百万円
(前期比2.7%減)

営業利益
△197百万円
(前期は△246百万円)



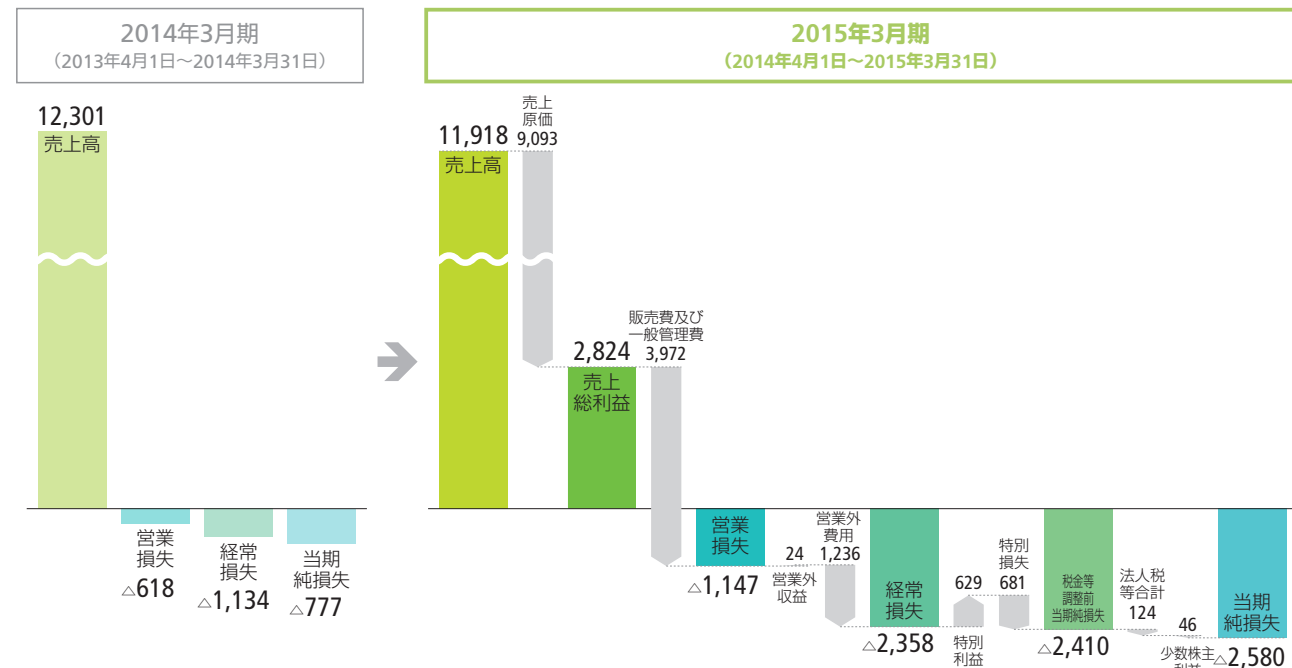
事業・サービス内容
ISPサービス販売
携帯電話サービスの取り扱い
ブロードバンド回線販売

ISPサービスの販売が減少したため通期では減収となりましたが、売上高は回復傾向にあり、下期(10月~3月)においては前期を上回りました。また、解約引当率の低下によって原価率が改善しました。

連結財務諸表(要約)

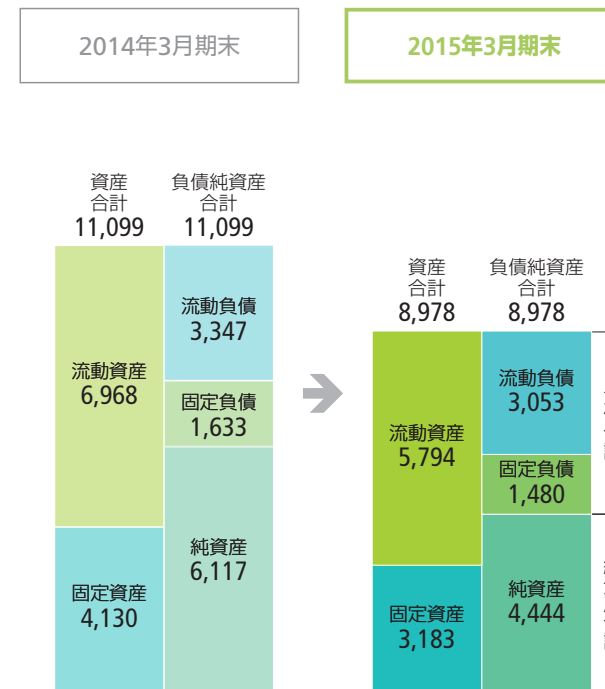
連結損益計算書

(単位:百万円)



連結貸借対照表

(単位:百万円)



資産合計

受取手形及び売掛金が増加した一方で、番組勘定や商品及び製品(ゲーム機等)を評価減したこと等により、前期末と比べ19.1%減少しました。

負債合計

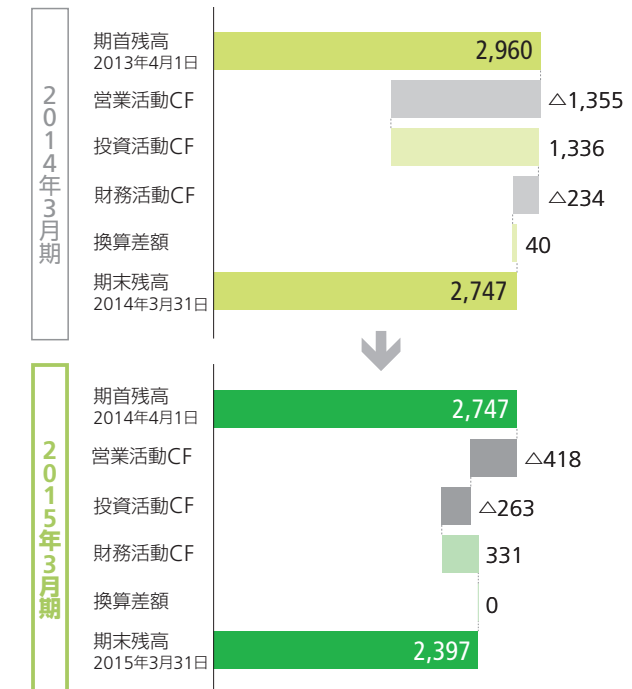
買掛金やその他流動負債、長期リース債務の減少により、前期末と比べ9.0%減少しました。

純資産合計

新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金が増加した一方で、当期純損失を計上したことが主な要因となり、前期末と比べ27.3%減少しました。これにより、自己資本比率は39.7%となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純損失2,410百万円を計上しましたが、支出を伴わない持分法による投資損失や貸倒引当金繰入額、たな卸資産の評価減が含まれており、結果としてマイナス418百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

CDN事業の一部を営業譲渡したことや当社の連結子会社株式の一部を譲渡することによる収入があった一方で、貸付や固定資産の取得による支出があったことにより、マイナス263百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

リース債務や借入金の返済があった一方で、自己株式の売却や新株予約権の行使による収入があったこと等により、プラス331百万円となりました。

IRサイト「投資家情報」のご案内



直近の決算情報や株式情報等もご覧いただけます。

【掲載資料】

電子公告、決算短信、有価証券報告書、株主通信、株主総会のご案内など

<http://www.broadmedia.co.jp/ir/>

売上高

「放送」は増収となりましたが、他の4つのセグメントが減収となったことが影響し、売上高は減少しました。

営業損失/経常損失

第3四半期に、「コンテンツ」でたな卸資産の評価減を行ったことが大きく影響し、損失が拡大しました。また、経常損失には、Gクラスタ・グローバル社への出資にかかわるのれんの減損処理等により、営業外費用が増加したことが影響しました。

当期純損失

CDN事業の一部を営業譲渡したことや子会社株式の一部譲渡したことに伴う特別利益を計上しましたが、特別損失として貸倒引当金繰入額を計上しました。

会社データ

(2015年3月31日現在)

会社情報

社名	ブロードメディア株式会社
英文社名	Broadmedia Corporation
設立	1996年9月5日
資本金	2,932,496千円
従業員	49名(連結410名)
URL	http://www.broadmedia.co.jp/

グループ会社



株式会社釣りビジョン

http://www.fishing-v.jp/

釣り専門チャンネル「釣りビジョン」の制作並びにBS放送、およびスカパー！プレミアムサービス・ケーブルテレビ局等に向けて番組供給事業をしております。

設立：1998年3月 所在地：東京都新宿区



ルネサンス・アカデミー株式会社

http://www.renaissance-academy.co.jp/

全日型(通学)コースも用意された、スマホ・タブレット等での学習も可能な新しいタイプの通信制高校「ルネサンス高等学校」「ルネサンス豊田高等学校」「ルネサンス大阪高等学校」を運営。また、科学の楽しさを提供する「科学検定」の運営を行っております。

設立：2005年10月 所在地：東京都中央区



ハリウッドチャンネル株式会社

http://www.hollywood-ch.com/company

新作洋画・新作邦画・ドラマを中心とした映像をTV・PC・スマートフォン・タブレット向けに配信しております。また、映画・ドラマを中心としたエンタメニュース配信、広告宣伝業務、公式サイト制作受託を行っております。

設立：2003年4月 所在地：東京都中央区



ルーネット・システムズ株式会社

http://www.roonets.co.jp/

ホテル・病院等のホスピタリティ市場向け、施設内インターネット環境の設計から運用・保守・管理までトータルソリューションを提供しております。

設立：2014年5月 所在地：東京都中央区

取締役および監査役

(2015年6月24日現在)

代表取締役社長	橋本 太郎	常勤監査役	浦沢 武士
取締役	嶋村 安高	監査役	土橋 康成
取締役	久松 龍一郎	監査役	白石 文人
取締役	押尾 英明	監査役	北谷 賢司
取締役(非常勤)	有澤 僚		
取締役(非常勤)	桃井 隆良		
取締役	関 伸彦		

※関伸彦は、社外取締役であります。

※浦沢武士、白石文人および北谷賢司は、社外監査役であります。



ブロードメディア・スタジオ株式会社

http://www.bmstd.com/

外国映画・海外ドラマのテレビ放映権の販売、日本語版(字幕・吹替)の制作、および外国映画の劇場配給・映画宣伝、DVDビデオの発売・プロモーション等を行っております。

設立：2000年8月 所在地：東京都中央区



CDNソリューションズ株式会社

http://www.cdn-sol.co.jp/

CDNサービスのパイオニア。「アカマイ」の主要代理店。商用ウェブサイトの高速化、セキュリティ、グローバル配信等のソリューションをお客様の環境に合わせて提供しております。

設立：2001年4月 所在地：東京都千代田区

※2015年5月に移転しました。



デジタルシネマ倶楽部株式会社

http://www.dcinema.jp/

映画館へデジタル機材の導入を推進する配給・興行向けVPPFサービスを提供しております。

設立：2010年4月 所在地：東京都港区



Gクラスター・グローバル株式会社

http://www.gcluster.com/

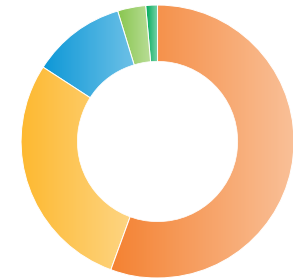
クラウド配信技術「Gクラスター」を活用してゲームや映像等のコンテンツを配信するサービスを、IPTVオペレーターならびにパブリッシャー等に向けて提供しております。

設立：2007年10月 所在地：東京都港区

株式データ

(2015年3月31日現在)

所有者別株式分布



	持株数(千株)	出資比率(%)
個人その他	38,646	55.83
その他国内法人	19,797	28.60
証券会社	7,648	11.05
金融機関	2,188	3.16
外国人	943	1.36

株式の状況

発行可能株式総数	128,000,000株
発行済株式の総数	69,223,516株
株主数	14,005名

大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
SBBM株式会社	9,878	14.51
SBIエンタテインメントファンド2号	5,627	8.27
SBIホールディングス株式会社	3,354	4.93

※発行済株式の総数には、自己株式(1,157,332株)を含んでおります。
※所有者別株式分布の「個人その他」には、自己株式を含んでおります。
※大株主の出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) http://www.broadmedia.co.jp/ ただしやむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話 お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	☎0120-288-324
お取扱店		みずほ信託銀行 全国本支店 みずほ証券 全国本支店
ご注意	未払配当金の支払*、支払明細発行は、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。

※ 未払配当金の支払のみ、みずほ銀行 全国本支店でもお取引いたします。